

区分	薬 剤 名	処 理	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	使用上の注意
VII 1. 初・中期一発処理剤(つづき)	⑤ YH-453 粒 (つづき)		地早期は 除く。	ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒地を除 く、ヘラオモダ カは寒冷地以北 のみ。ヒルムシ ロは温暖地東部 以北のみ。〕	ビエ2Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ミズガヤツリ・ ヘラオモダカ; 2 Lまで。 ヒルムシロ; 発生 期。	地・寒冷 地・温暖 地早期は 300のみ。	〔但し、暖 地は(1.5 cm/日以 下)。寒 地・温暖 地西部普 通期の砂 壤土は (1.5cm /日以下)。 寒冷地は 砂壤土を 除く。温 暖地西部 早期は埴 壤土(1 cm/日以 下)。〕	果が低下する ことがある。 (2) 著しい高温 条件下の砂壤 土水田では、 クロロシスの 発生すること があるので注 意する。 (3) 一年生広葉 雑草多発田で は400g/aと し、特にヒメ ミソハギが多 発する水田で の使用はさけ る。
	⑥ NTN-831 粒 (シンザン)	茎 葉 兼 土 壌 処 理	全域の早期、 普通期。 〔但し、温 暖地東部 の早期は 除く。〕	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・ヒルムシロ。 〔但し、ウリカワ は温暖地西部普 通期・暖地早期 を除く。ミズガ ヤツリは寒地を 除く。ヘラオモ ダカは寒冷地以 北のみ。ヒルム シロは寒地・寒 冷地・暖地普通 期のみ。〕	+5〜ノビエ2.5 Lまで。 〔但し、寒地・温 暖地西部以西の 早期はノビエ2 Lまで。 ホタルイ・ウリカ ワ・ヘラオモダカ; 2Lまで。 ミズガヤツリ; 2 Lまで。 〔但し、温暖地西 部は発生始まで。〕 ヒルムシロ; 発生 期。 〔但し、寒冷地は〕 発生始まで。〕	g/a 300〜400 〔但し、温 暖地西部 早期・暖 地は300 のみ。〕	埴土〜埴土 (2cm/日 以下)。 〔但し、温 暖地西部 早期は(1 cm/日以 下)。暖 地普通期 は(1.5 cm/日以 下)。暖 地早期は 砂壤土〜 埴土(2 cm/日以 下)。〕	(1) 植付精度不 良で、根が露 出する水田で は使用しない。

注) 1. アンダーライン実線は本年度拡大された部分、点線はその一部が拡大されたものを示す。

2. 薬剤名欄の下段に商品名〔()内〕または農薬登録後予定される商品名〔()内実線付〕を参考のために記載した。

新 除 草 ・ 調 節 剤

対象作物：移植水稻

シンザン[®] 粒 剤

ナプロアニリド・プロモブチド・

メフェナセット粒剤

(取扱メーカー) 塩 野 義 製 薬 株 式 会 社
八 洲 化 学 工 業 株 式 会 社
山 本 農 薬 株 式 会 社
日 本 特 殊 農 薬 製 造 株 式 会 社

成分・作用特性：本剤は、 α -(2-ナフト
キシプロピオンアニリド……7%と(RS)-
2-ブロモ-N-(α , α -ジメチルベンジル)
-3,3-ジメチルブチルアミド……4%と2-
ベンゾチアゾール-2-イルオキシ-N-メチ
ルアセトアニリド……3.5%を含有する類白色
の細粒である。

本剤は、殺草作用の異なる3つの成分(ナプ
ロアニリド・プロモブチド・メフェナセット)

の共力作用により、雑草の生長点に強く作用し、抑制・枯死に到らしめる。ナプロアニリドは、雑草の根部および茎葉部より吸収され、雑草体内で細胞分裂や伸長の旺盛な部位の正常なホルモンの働きを攪乱し、雑草を枯死させるかあるいは、生長を抑制する。また、プロモブチドは雑草の幼芽部および根部から吸収され、根から吸収された成分は容易に茎葉部へ移行し、雑草を徐々に枯殺する。一方メフェナセツトは根部および幼芽部の主として生長点原基に作用し、タンパク合成を阻害する。すなわち、生長点における細胞サイクルの静止期・代謝期に作用し、細胞の分裂・伸長を阻害することによって雑草の生育を停止させ、枯死にいたらしめる。

特徴：①広い散布適期幅をもち、農作業に余裕。田植後12～15日頃までの散布ができるため、代かき・田植・補植・除草剤の散布と連続の農作業にゆとりをもたせることができ、いままででない極めて便利な除草剤といえる。②広範囲の雑草に優れた効果。ノビエをはじめとするキャツリグサ・コナギ・その他一年生雑草やマツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロなどの多年生雑草に対する除草効果が高く、一年生および多年生雑草の同時防除剤として、一発処理が可能である。③抑草期間が長い。高い効果が40日以上持続し、雑草の発生を長期間抑えるため、中期剤を省略することができる。④水稻に対する高い安全性。温度などの諸条件による影響が少なく、水稻の活着後に使用するため、より安全性が高い。⑤人畜に対する毒性が低く、魚介類に影響が少ない。

毒性：急性経口および急性経皮毒性はいずれ

も普通物である。

使用方法：東海・北陸以北の普通期栽培地帯では移植後7～15日に、近畿以西の普通期及び早期栽培では移植後5～12日に、10a当り3kgを湛水散布する。

使用上の注意：①雑草の発生状況は各地域の気象条件などによって異なり、特に多年生雑草は生育段階によって効果がふれる場合があるので、必ず地域に合った適期に散布する。ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカおよびミズガヤツリは2葉期まで、ヒルムシロは発生期までが散布適期。②オモダカやクログワイなどの難防除雑草が多発する水田では、本剤だけでは十分な効果があげられないのでオモダカやクログワイに効果のある除草剤を併用する。③散布にあたっては止水し、通常の湛水状態（湛水深3～5センチ）で均一に散布する。散布後3～4日間は、そのまま湛水を保ち極端な浅水や深水にならないように注意し、落水、かけ流しはさける。④砂質土壌の水田や漏水田（1日の減水深が2センチ以上）、また山間冷水地帯では、薬害を生ずる場合や効果の低下がみられる場合もあるので使用しない。⑤極端な浅植えや浮き苗の多い水田などで、水稻の根が露出している場合は使用をさける。⑥軟弱苗を移植した水田での使用はさけ、本剤の散布後の補植はしない。

リードゾン®粒剤

ピラゾレート・プロモブチド・

メフェナセツト粒剤

（取扱メーカー）
（リードゾン普及会）

三 共 株 式 会 社
住友化学工業株式会社